

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	6	開封日	平成29年6月1日
ご意見			
スーパー等に授乳室が少ないというか、ない場所が多いです。 あると大変助かります。			
回答			
ご意見いただきありがとうございます。子ども・子育て支援を担当しています福祉課児童福祉係からお答えいたします。			
<p>熊本県におきましては、やさしいまちづくりを進めるため、「熊本県高齢者、障害者等の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例（通称 やさしいまちづくり条例）」を制定しています。バリアフリー新法の基準に適合するもののほか、日常生活の中で多くの方が訪れる一定規模以上の建物に関して、円滑に利用できるように必要な措置を講ずるよう努めなければならないとされています。</p> <p>スーパー等への授乳室設置でいえば、床面積が2,000㎡以上の建築物が対象となりますが、義務ではなく努力規定となっているため、その判断はあくまで建築物等の所有者によることになります。</p> <p>県が推奨するユニバーサルデザインに配慮した建築物の整備を促進するための補助金もありますが、既存施設をユニバーサルデザインの基準に合うように改修するには費用が伴います。いずれにしても建築物等の所有者の判断によりますので、ご理解をいただければと思います。</p> <p>なお、九日町商店街の一角に「ほっとステーション九ちゃんクラブ」がございますが、ここは概ね3歳未満のお子さんと保護者の交流の場、子育て情報の提供や相談の場で、どなたでもご利用できる広場となっています。この九ちゃんクラブと連携し、子育て応援店として子育てをサポートしていただいている九日町商店街のお店が周りには数多くあります。例えばミルク用お湯の提供やおむつ交換スペースの提供といったサービスがありますので、ご利用の際はお店にお声掛けいただければと思います。</p> <p>今後も御意見を賜りますようお願いいたします。</p>			
このマークが目印です。			
			